

皇室の美と 沖縄ゆかりの品々

2023

1.20/金/ ~

2.19/日/

毎週月曜休館

9:00-18:00 (金・土は20:00まで)

※入場は閉館の30分前まで

沖縄県立博物館・美術館
博物館企画展示室、特別展示室 1

- Close on Mondays.

- Friday and Saturday until 20:00.

- Admission until 30 minutes before closing.

美ら島おきなわ文化祭2022関連特別展
宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展



①



③ 山本芳翠〈琉球中城之東門(部分)〉1888年

① 五衣・唐衣・裳 19~20世紀 ② 円山応挙〈張飛図(部分)〉18世紀

主催 / 沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団、宮内庁、文化庁
特別協力 / 紡ぐプロジェクト、読売新聞社

あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



復帰 50 年を節目として行われる国民文化祭「美ら島おきなわ文化祭 2022」の一環として、沖縄で初めて皇室に伝えられた美術工芸品の展覧会を開催します。宮内庁三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品などが平成元年(1989)に国に寄贈されたのを機に、皇居東御苑に平成5年に開館した施設です。このたび、三の丸尚蔵館が所蔵する沖縄ゆかりの油彩画や工芸品と、皇室に伝えられた名品の数々を紹介します。

沖縄ゆかりの品々

Arts and Crafts Related to Okinawa

明治20年(1887)頃の沖縄を写生した山本芳翠の連作画をはじめ、旧桂宮家に伝えられた「琉球塗料紙箱・硯箱」、昭和天皇や秩父宮家に献上された沖縄ゆかりの作家による作品や沖縄に根差した特色ある工芸品を展示します。

また、宮内庁が所蔵する明治時代の古写真の中から沖縄ゆかりの人物写真や明治20年の沖縄を写した写真、明治34年撮影の「沖縄県内各学校写真帖」をパネルで紹介いたします。



関連催事

2023. 1/20 (金)
14:00 ~ 16:00

講演会
「三の丸尚蔵館の収蔵品と開館30年のあゆみ」
〔講師〕五味 聖氏
(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官)
〔場所〕3F 講堂

2023. 2/11 (土)
14:00 ~ 16:00

学芸員講座
「宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展にみる皇室と沖縄」
〔講師〕大湾 ゆかり
(当館主任学芸員)
〔場所〕1F 博物館講座室

展示解説会

〔講師〕当館学芸員
〔場所〕博物館企画展示室
〔日時〕1/27 (金) 18:00 ~ 19:00
2 / 3 (金)
2/19 (日) 14:00 ~ 15:00

一般 Adult ¥ 800 (¥ 640)
高校・大学生 HS-College students ¥ 500 (¥ 400)
小・中学生 Elementary-Jr. HS students ¥ 200 (¥ 160)

プレイガイド：ミュージアムショップゆいむい / デパートりうぼう / ローソンチケット (Lコード 82729)
Ticket Agency : Museum shop Yuimui / RYUBO Department store / Lawson ticket (L-code 82729)

北斎の肉筆画、 沖縄で初披露



絵画や写真を通して皇室に伝えられた沖縄の姿

皇室の美

Imperial Aesthetics

三の丸尚蔵館が所蔵する名品から、江戸時代に活躍した円山応挙「張飛図」と葛飾北斎「西瓜図」を紹介いたします。また、明治時代初期に記録のために作成された「雅楽図」や、高村光雲・山崎朝雲「萬歳楽置物」、綴織による大型の壁掛けなど、皇室がその伝承に深く関わってこられた雅楽を主題とした作品や、儀式で用いられた伝統的な装束、着物など、高貴で優美な染織美をご覧ください。このほか、皇室の御慶事の折に記念の品として作られてきた愛らしいボンボンニエールなどを紹介します。



④ 高村光雲・山崎朝雲「萬歳楽置物」1915年 ⑤ 葛飾北斎「西瓜図」1839年 ⑥ 琉球ガラス花瓶 1987年頃 ⑦ 菊唐草箔絵巻 1974年 ⑧ 琉球塗料紙箱・硯箱 17世紀 ⑨ 犬張子形ボンボンニエール 1934年

